

Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

● ● ● 2025(令和7年)10.8

主催事業のご案内

オランダ(蘭学)ゆかりの地巡り 秋の散策会参加者募集 ～浦安・堀江水準標石・ 浦安郷土博物館見学会～



当協会では、従来のバス見学会の代替として公共交通機関を利用して県内にあるオランダゆかりの地巡りを実施しています。今回は秋の散策会として、明治初期、オランダ人技師リンドが係わった浦安市にある「堀江水準標石」を見学します。明治政府から雇われて来日したリンドは明治5年江戸川、利根川の水準測量を行いました。堀江の清瀧神社境内には水準標石が設置されています。また Y.P. (Yedogawa Peil) と呼ばれる川の水位を測る基準は、堀江水位観測所の水位標0mを基準として水面の高さを表しています。

浦安は、旧江戸川に面し、1873年千葉県に編入され、1889年(明治22年)当時の堀江村、猫実村、当代島村を合わせ浦安村となりました。堀江周辺は、境川を中心に栄えた江戸時代末期からの建物も市指定有形文化財住宅として保存されており、今回見学を予定しています。境川周辺散策後、浦安市役所10階にあるレストランで昼食をとっていただき、その後、対面の公園内にある浦安市郷土博物館に移動して見学します。郷土博物館では、漁師の町として栄えた浦安を再確認いただけたらと思います。博物館見学後は自由解散となりますが、市役所前から浦安行のバスも運行されており疲れた足を休めることも可能です。

オランダと日本に共通する「水」に関する見学会となりますが、9月の講演会に続き、改めてオランダ人の活躍を確認していただければ幸いです。11月初旬は散策にふさわしい気候になることを願い、会員皆様の参加をお待ちしております。

日時: 11月7日(金) 10時～15時

小雨決行 荒天中止

集合場所: 地下鉄東西線「浦安」駅 改札口周辺※お手洗いを済ませ10時集合

対象: 会員とその家族

定員: 25名(申込先着順)

参加費: 200円(保険料等) ※現地までの交通費・昼食代は各自負担

申込: ちば電子申請サービスのQRコードから申し込み

又は事務局員へ相談

山岡会長 043-485-0627

関事務局長 043-463-3269

申込期間: 10月14日(火)～10月31日(金)

持ち物: 飲み物、帽子、雨具等

*詳細は受付終了後、参加者の方にお知らせします。

問合せ: 佐倉市文化課

043-484-6191



申込はこちらから



参加事業のご案内

「市民活動発表会2025 つたえる、ひろがる、私達の活動」

11月30日(日)9時45分～15時 佐倉市中央公民館で開催される「佐倉市市民公益活動サポートセンター」主催「市民活動発表会2025」に当協会は、登録団体として今年も参加します。昨年度は会場を志津コミュニティセンターに移して開催されましたが、今年度は、再び、佐倉市中央公民館にて開催となり、大ホール、ホワイエ、2階会場にて行われます。当協会は、大ホール内でのブース展示となりますが、活動の紹介並びに和蘭用語集・オランダの味の販売、展示ブース周辺でのオランダ木靴体験を予定しています。

毎春、チューリップフェスタ期間中に開催した風車まつりも、来春は、ふるさと広場拡張工事のため開催は難しく、今般秋の「市民活動発表会」の会場内、当協会ブースにて風車まつりの際好評だったオランダの味(ワッフルとチーズ)の販売を予定しています。お菓子もチーズも賞味期限が長く、市販価格よりかなり低価での販売です。皆様お誘いあわせの上、ご来場いただき当協会ブースにお立ち寄りください。



【事務局長 関とも子】

2025.10.8

「ポスター展」

日程・会場

11月7日(金)～

13日(木)

イオンタウンユーカリが丘東街区3階

11月30日(日)

中央公民館

「市民活動発表会」
(合同開催)

令和8年1月21日(水)～2月1日(日)夢咲くら館

令和8年2月4日(水)～11日(水)和田ふるさと館



主催事業のご報告

オランダ事情講演会を開催しました

残暑厳しい9月14日(日)午後、佐倉市立美術館4階ホールにて当協会主催オランダ事情講演会を開催しました。会場には会員とご家族、一般のご参加合わせて計72名の皆様にお集まりいただき、当市西田市長さん、望月副議長さんにもご出席いただきました。

当協会は今年で設立38年を迎えますが、オランダ事情講演会も当初より継続し、日蘭交流の歴史、オランダの社会、経済、福祉、生活、芸術などについて学んできました。オランダは環境問題について世界で最も敏感な国であると言われますが、当協会では以前にも「オランダの環境問題」というテーマで講演会を開催したこともありました。

今回は講師として国立大学法人政策研究大学院大学名誉教授 廣木謙三先生をお迎えし、「日本とオランダ水のつながり～日蘭水の災害から文化・歴史・外交まで」の演題でご解説頂きました。本年は、オランダ船デ・リーフデ号が1600年に現大分県臼杵の海岸に漂着して始まった日本とオランダの交流が425年を迎える記念すべき年にあたります。また、国内外で頻発する水の災害について人々の関心が益々高まる中、世界の水と災害、日本とオランダの水をめぐる関わりに精通されておられる廣木先生によるご講演は大変タイムリーな学びの場となりました。

ご講演では、沢山の貴重な画像を駆使しながら詳しい資料に添って分かり易くご解説頂き、2時間はあっという間に過ぎてしまいました。世界と日本の災害の現状、都市化や貧困と災害、先人たちの取り組み、世界の水と衛生の未来について等々、様々な角度からご教示いただき、水と災害の問題を理解するうえで参考になる数多くのヒントをいただきました。

オランダと日本は地理的・歴史的な背景も異なる中、水をめぐる研究の分野で深い繋がりがあり、世界の水問題の解決のため未来志向の協力を継続しているというお話を伺い、日蘭交流の更なる発展に思いを馳せることができました。また、明治政府のお雇いオランダ人技師たちが各地で活躍した、というお話からは、当協会オランダゆかりの地巡りで訪ねた岡山市の児島湾、流山市の利根運河を見学した折の感動が蘇りました。当協会では、来る11月7日にゆかりの地巡り浦安見学会(会員対象)を計画しており、オランダ人技師のもう一つの足跡を訪ねる予定です。

会場では参加者皆様にアンケートへのご協力を頂き、「国際的な視野から水と災害を学ぶ貴重な機会だった」、「明治期オランダ人技師が治水に貢献し今も尊敬されている」、「世界でも日本は水に恵まれている、大切にしたい」、「印旛の水や洪水の学びに参考になった」等々、多くの感想が寄せられました。当協会では、多くの分野において世界をリードしている「小さな大国オランダ」に関心を寄せ、今後様々な学びを継続したいと計画しています。新たにご入会、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、今講演会の開催にあたり多大なご協力を賜りました廣木先生はじめ関係の皆様にご心よりお礼申し上げます。

【会長 山岡みち代】



9/14 開催オランダ事情講演会「日本とオランダ 水のつながり」に参加して

講師の政策研究大学院大学名誉教授廣木謙三先生は、水と防災に関わる分野に於いて日本のみならず国連も含めた海外でも幅広く活躍。2024年にはオランダ国王から民間最高位のオラニエ・ナッサウ勲章司令官位を受賞しました。貴重な講演会であって聴講席はほぼ満席。西田現佐倉市長、渡貫元佐倉市長も参加されました。

講演は水と人との関わり、日本及び世界の水情況、水の未来(SDGS、世界の水外交)等非常に多岐に渡り、配布資料も内容に富み大変勉強になりました。冒頭、水災害発生時に現場責任者が取るべき具体的行動について解説があり、四件の選択肢を提示し「あなたならどうする？」と聴講者に問いかけました。水災害が頻繁にニュースになっている昨今、聴講者の関心は一気に講義へ集中していききました。

オランダとの関係では、明治時代に利根運河工事に従事した「お雇いオランダ人技師」ローウェンホルスト・ムルデルとヨハネス・デ・レーケの偉業について解説されました。昨年 11 月実施された日蘭協会散策会「オランダ・蘭学ゆかりの地巡り」で見学した利根運河水辺公園にある「ムルデルの碑」を思い出し、功績を称えろと共に改めて日本とオランダの深いつながりを認識致しました。

講演後の質疑応答では印旛沼汚染問題が取り上げられました。印旛沼は佐倉ふるさと広場周辺計画構想にも関わる重要な観光スポット。琵琶湖は市民の協力が汚染改善の一助になったと知り、印旛沼も市民の協力も含めた早急な対策が必要と痛感致しました。

最後になりましたが、今回の貴重な講演会開催に向け尽力された日蘭協会事務局の皆さんに深く感謝いたします。【会員 森井眞策】



「オランダ事情講演会を受講して」

「日本とオランダ 水のつながり」という演題で廣木謙三先生より日本とオランダの水事情についてお話をいただきました。海に囲まれた島国日本と海拔ゼロメートル以下の低地に立地しているオランダという国が、水災害という共通の課題を抱え戦ってきました。オランダのシンボル、風車は古くから粉ひきや油絞りだけでなく洪水を防いだり干拓のため水を排出したりするための役割を果たしていたことを知りました。

水と共に築かれた国、オランダの成長がめざす水管理は日本にも貢献されました。それは明治期の「お雇い外国人技師」ファン・ドールンの偉業です。不毛の地を肥沃の地に変貌させた「安積疏水事業」はアムステルダムと福島県郡山が同じ型で地域開発を行ったということなど、大変身近に感じました。

世界で最高水準の治水技術を誇るオランダ人技術者たちは、世界中で水との戦いで素晴らしい活躍を続けています。これからも全世界の水害多発地域を守っていただきたいと願うばかりです。ここ近年の地球規模の気候変動は、記録的な豪雨や干ばつの長期化、そして海面上昇といった形で水との共生を根本から揺るがしている今日この頃です。

水は脅威でもある一方、恵みでもあります。人類が生きるための糧の水が無くならないよう、気候変動に適応するための実践的なアプローチを地域全体で推進するべきだと思います。例えば、自宅でできる緑化や雨水の貯蔵方法等、市の取組みも見えてきましたが、多くの方々に知って欲しいと思います。

また、印旛沼の水質の現状について、多くの県民の水道水や農業用水、工業用水として利用されている沼で、今はこの沼が全国ワースト3位に入っているほど汚染度がひどくなっているそうです。沼の水質汚染の大きな原因の一つが家庭から排水される生活雑排水です。これらの改善には私たち各家庭での取組みを強化しないといけないと思います。

「調理のくずを流さない」「食器や鍋の油污れをふき取ってから洗う」「洗剤の適量使用」等、できるところから改善していく必要があると思います。これからも印旛沼の水の清きことを願うばかりです。

【会員 松本友枝】

東京 2025 世界陸上競技大会(9 月 13 日～21 日)に出場するオランダ選手団キャンプ公開練習見学と激励式に参加して

9 月 6 日台風一過のさわやかな天候の中、山岡会長と千葉県総合スポーツセンター陸上競技場へ行ってきました。中、高生、一般客も大勢の中、10 時頃からちらほらと選手達が入念なウォーミングアップをしているのや、円盤投げ女子 2 選手の練習を見学しました。生で見るのは始めてで感激しました。

11 時 45 分から県の挨拶、(国名と必勝などの文字が入ったカラフルな)大漁旗とチーバくんのお守りが贈られ、オランダ選手団長からの挨拶と贈り物、佐



倉太鼓集によるオランダ国歌演奏(横笛が入り響いていました)、選手達も参加して楽しく試し打ち、最後に記念撮影があり激励式が終了しました。

【事務局 若宮陽子】



オランダ関連情報

- 展覧会 -

『ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢』

東京都美術館にて 12月21日まで開催中

但し、土、日、祝日、および12月16日(火)以降は、日時指定予約制

本展は、ゴッホの弟テオの妻が義兄のために作品を管理したものを、その後家族が受け継いだ、まさにファン・ゴッホ家のコレクションです。

また、オランダ、クレーラー・ミューラー美術館のコレクションから『大ゴッホ展 夜のカフェテラス』は20年ぶりに2026年春、上野の森美術館で開催される予定です。



- 写真展 -

「オランダ X チバ 撮る、物語る」

ーサラ・ファン・ライ & ダヴィット・ファン・デル・レーウ X 清水裕樹 展ー

日程: 令和7年11月15日(土)

～令和8年1月18日(日)

場所: 千葉県立美術館

内容: 千葉県とオランダとの文化交流の一環として日本初のオランダ写真家二人の作品を紹介。県出身の写真家・清水裕樹とともに千葉にまつわる写真の歴史やコレクションも併せて展示する。

- 本の紹介 -

世界史のリテラシー『オランダは[自由の国]だったのか』～アンネ・フランクの連行された日～水島治郎 編(NHK 出版)

千葉大学大学院社会科学研究院教授の水島治郎氏は欧州・オランダ政治史を専門とされ、昨年当協会主催のオランダ事情講演会で「広場の少女・アンネ・フランク」と題してご講演いただきました。

本書は、著者の既刊『隠れ家と広場』の内容に奴隷制、難民関連の問題、ライデンにおける「自由」など新たな論点が加えられています。



「ゴッホ 麦畑の秘密」

吉屋敬著(筑摩書房)

著者、吉屋敬氏は画家であり、エッセイスト、ゴッホ研究家としてオランダに長く居住していました。

本書はゴッホの人間像、ゴッホの愛した日本の浮世絵にも触れています。また著者の作品は佐倉ハーモニーホール2階への踊り場に飾られています。

* オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

特別会員(敬称略)

岡村美智子

(株)小川園

(株)オランダ家

(株)木村屋

(株)クリケツ

佐倉厚生園病院

(社)佐倉市観光協会

佐倉商工会議所

佐倉社中合同会社

佐倉順天堂医院

(株)村山ツーリストビューロー

佐倉ロータリークラブ

田中育子

千明(CHIGIRA, M)

DIC 川村記念美術館

塚田雅二

日本電気商会

宮北英志



佐倉日蘭協会

〒285-0037 佐倉市本町 81 佐倉順天堂記念館

普通会員 1 口 2,000 円 / 特別会員 1 口 5,000 円

* 新規会員募集中 詳細は下記問い合わせ先へ
事業参加申込・問い合わせ

佐倉市魅力推進部文化課

文化振興班 佐倉日蘭協会担当

〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97

TEL . 043-484-6191

FAX . 043-486-9401

e-mail: bunka@city.sakura.lg.jp

ホームページ「佐倉日蘭協会」で検索

